

科目	単位	時間	履修学年	講師名
在宅療養を支える看護Ⅲ	1	30	2	
ねらい	在宅で療養している対象の健康問題に対して、模擬患者の看護計画を作成し、看護の実際を学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1・2回目	1. 在宅で人工呼吸療法をする筋委縮性側索硬化症患者の看護・事例紹介 ・事例を分析するための必要な情報収集	講義		
3回目	2. 訪問看護記録1・2に沿って情報分析	個人ワーク		
4・5回目	3. 訪問看護記録3に沿って情報整理・分析	個人ワーク		
6・7回目	4. 訪問看護記録4に沿って社会資源の整理・分析	個人ワーク		
8回目	5. 問題点・看護目標について			
9・10回目	6. 訪問看護記録1～4に沿って情報分析	グループワーク		
11回目	7. 訪問計画・援助立案			
12・13回目	8. グループ発表	グループワーク		
14回目	9. 看護過程自己評価・実習にむけて	講義		
15回目	10. まとめ			
教科書	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア (メディカ出版) ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 (メディカ出版)			
評価方法	筆記試験 課題提出 100点			
備考	<p>・筋委縮性側索硬化症患者の事例を通して、訪問看護記録に沿って展開します。対象の疾患や症状だけではなく、療養者の療養環境や生活背景、家族の介護状況、社会資源などから対象が望む在宅療養を継続していけるよう対象を捉えることが必要です。演習では事例から抽出した看護問題・看護計画を訪問看護の一場面を想定して発表します。</p> <p>・事前学習、テキスト、授業資料など必要な資料は毎回持参して下さい。</p> <p>・課題提出については期限も評価の対象です。期限を守り提出してください。</p>			